

きゅうたなかけじゅうたく
板橋区 旧田中家住宅



古民家情報

建築年代:江戸時代中期か
規模:桁行7.5間・梁間4.3間
構造:整形四つ間取り
寄棟造り・茅葺き
板橋区指定有形文化財(建造物)

旧田中家住宅は、江戸時代中期にさかのぼる建築と言われ、幾度かの改築を経て、昭和46年(1971)まで板橋区徳丸5丁目にあったものを、板橋区立郷土資料館の敷地内へ移築・公開しています。移築前の写真から寄棟造りで茅葺屋根であったことが分かります。当時の板橋区徳丸5丁目付近の敷地は、現在緑道になっている旧前谷津川を南に見下ろす日当たりの良い緩斜面で、住むにも農作業にも最適な場所でした。

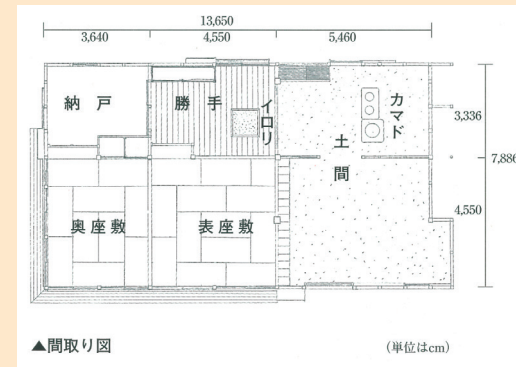
旧田中家住宅を移築した契機は、昭和38年の徳丸石川土地区画整理事業でした。この事業に伴い道路を通すことになったため、当時建築工事を行っていた郷土資料館へ民俗の展示室として活用するため昭和47年に移築されました。現在は、板橋の歴史や古建築を知る上で貴重な存在となっています。

ご利用案内・アクセス

開 9:30 ~ 17:00 (月曜日休館・月曜日が祝日の場合は翌日休館) **料** なし
所 板橋区赤塚 5-35-25 板橋区立郷土資料館内 **交** 東武東上線「成増」駅北口から国際興業バス(区立美術館経由高島平操車場行)「区立美術館」下車徒歩1分
問 板橋区立郷土資料館 Tel.03-5998-0081 Fax.03-5998-0083

その1! 間取り

見どころポイント!



建物としての大きな特徴として、2つの座敷と勝手と納戸の四間取りであり、上から見ると、田の字型に表座敷(デイ)、奥座敷(ザシキ)、勝手(オカッテ)、納戸(ヘヤ、ナンド)が配された四間取りとなっています。仕事の場と暮らしの場が一体となった江戸時代以来の農家の住まいです。民家の入口には大戸があり、障子紙を貼った「コオシ戸」がはめ込まれています。

その2! 四季折々の年中行事



旧田中家住宅は、建物内の見学だけでなく、農具の展示や板橋区立郷土資料館が所在する赤塚地域の年中行事をもとに四季折々の飾り付けをしています。

